

教 員 氏 名	基 村 昌 代	職 位	教授
最 終 学 歴	愛知県立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了		
学 位	修士（芸術学）（愛知県立芸術大学）		
役 職		委員会	入試委員会
担 当 科 目	「幼児音楽Ⅱ」「ピアノ演習Ⅱ」「音楽」「芸術の世界」「幼児と表現」「保育内容指導法(表現)」「保幼小連携総論」「保育実践演習」「保育実習指導Ⅰ」「総合演習ⅠA、ⅠB」「総合演習ⅡA、ⅡB」「卒業研究」		
教科書・教材・教育方法の実践例	1. 基礎歌唱法及びピアノ奏法に関する授業では、ピアノ曲や幼児歌曲を用いた弾き歌い、斉唱、重唱等の実践を通して学修を行っている。授業においては、学生一人ひとりの習熟度や課題を丁寧に把握し、個々の力量に応じた指導を実施している。また、音楽表現は言語のみでは伝達が困難な側面を有することから、教員自らが実演を行いながら、具体的な指導及び助言を行っている。歌唱指導においては、音声学の知見を踏まえつつ、学生の身体的・発声的状况に配慮した実践を行っている。さらに、幼稚園・保育所・小学校等の教育・保育現場を想定した弾き歌いの実践を取り入れている。加えて、子どもの音楽的発達及び身体的発達への理解を深め、発達段階に応じた表現活動を展開できるよう、学生とのディスカッションを積極的に導入している。音楽に対する興味・関心を高めることを重要な課題と位置づけ、技術向上は主体的な学習意欲に基づくものであるとの考えから、身体活動やシアターゲーム等を取り入れ、楽しみながら学べる授業づくりに努めている。また、楽譜を読む力を養うため、ICTを活用した独自のオンライン譜読課題80問を作成し、毎週の課題として実施している。その結果、正答率の向上に加え、回答時間についても年間平均で約2分短縮されるなど、一定の成果が見られている。 2. 幼稚園・保育所における音楽表現活動及び小学校における音楽科・音楽表現活動に関する授業では、子どもの音楽的発達及び身体的発達への理解を深めることを重視している。そのため、0歳から12歳までの子どもの発達過程について、映像資料等を活用しながら学修を行っている。また、幼稚園・保育所・小学校における音楽表現活動の連携についても、実際の教育・保育現場で行われている活動を映像で鑑賞し、その内容を踏まえながら、より良い活動の在り方や円滑な接続・連携を実現するための工夫について検討している。さらに、学生同士による意見交換や協働的な学びを促進するため、グループディスカッションを積極的に取り入れている。		

教育研究業績	1. ワーグナープロジェクト名古屋「RING」 ワーグナー：序夜と3日間のための舞台祝典劇「ニーベルングの指環」4部作 指揮：三澤洋史、演出：佐藤三晴 ・第1夜 楽劇「ワルキューレ」全3幕 ブリュンヒルデ役 平成29年06月11日 愛知県立芸術劇場コンサートホール ・第2夜 楽劇「ジークフリート」全3幕 ブリュンヒルデ役 平成30年09月02日 愛知県立芸術劇場コンサートホール ・第3夜 楽劇「神々の黄昏」全3幕 ブリュンヒルデ役 平成31年08月18日 愛知県立芸術劇場コンサートホール 2. びわ湖ホールプロデュースオペラ ワーグナー「ニーベルングの指環」4部作 第1夜 楽劇「ワルキューレ」全3幕 指揮：沼尻竜典 演出：ミヒャエル・ハンベ ゲルヒルデ役（ブリュンヒルデ・アンダースタディ） 平成30年03月04日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール 3. 名古屋テアトロ管弦楽団主催 歌劇「トゥーランドット」全3幕 指揮：佐藤正浩 名古屋テアトロ管弦楽団 名古屋テアトロ合唱団 トゥーランドット役 平成30年07月01日 東海市芸術劇場大ホール 4. びわ湖ホール「ジルヴェスター・コンサート」2018-2019 指揮：沼尻竜典 演出・構成：岩田達宗 司会：桂米團治 大阪交響楽団 歌劇「蝶々夫人」抜粋 蝶々夫人役 平成30年12月31日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール 5 (シリーズ知のゆりかご)子どもの姿からはじめる領域・表現 (共著) 株式会社みらい出版 令和3年4月
所属学会	1. 日本保育学会会員 (現在に至る) 2. 日本音楽教育学会会員 (現在に至る) 3. 日本演奏連盟会員 (現在に至る) 4. 東京二期会会員 (現在に至る)